【ねがいましては】

平成２１年９月１日　　*KYOWA SCHOOL*
第２２６号

「ごめんなさい」

２００９ＣＡＭＰ、運はしっかり我々に味方していました。出発前までの天候不順、そして帰宅してからの台風。ちょうどその谷間にあたり、まとまった雨にも会いませんでした。日中の過ごしやすさは都会で生活なさっている方々には「申し訳ありません。」の一言です。

計画のない生活は、各バンガロー（５～６人、年齢バラバラ）内の人間関係構築には重要なものです。学校などのように計画どおりに動かされる受け身ではなく、自分たちの自発性が問われるからです。

人は『欲』のかたまりです。家族の中では『あうん』の流れであっても、他人との共生はさまざまな違和感を発生します。

今年のＣＡＭＰは、おそらく初めてではないかと思いますが、小学校１年生が３名参加しました。おそらく一番不安だったのは、本人ではなくご両親であったと思います。しかし、その気持ちもどこへやら・・・。初日から無邪気に遊びます。「さみしいよーお母さん。」などといった声もありません。

後で聞いたことですが、女の子のバンガローは室内がかなりひっくり返っていたそうです。まっ、それも経験。

私はまったく干渉しないことにしています。要所のみ、スタッフさんたちに頼みます。例えば「あの子の食器、きれいに洗ってないみたいだから面倒みてくれる・・・。」「あの子、初日から同じ服装じゃない？　ちょっと確認してみて。」程度です。

さて、今年もドラマがありました。

初参加の１年生Ａちゃん、どうやらトイレが怖いようです。キャンプ場トイレは全室水洗、何の不満もないようなのですが、虫がいるのが嫌な様子。１匹でもいれば本人からするとブブー。というわけで回避策をとりました。売店のトイレです。ここは虫君もいないようで、Ａちゃんにとっては合格トイレ。その後売店トイレのみを使い始めます。売店トイレはあくまでも売店のもの、キャンパーたちがそろって使用するところではありません。

そこで私は各班の長さんに売店トイレを使用しないように伝達しました。が、やっぱりかな。守られなかったのです。ちょうど全員に話さなければならないことがあったので、集合をかけたとき、Ａちゃんともうひとり３年生のＥちゃんが売店トイレへ行っていたのです。Ａちゃんひとりでは行けないのでしょう、仲間を誘います。

同じ班の子を迎えに行かせ、そして待つこと５分、帰ってきました。

「売店のトイレへ行ってはいけないことは知っているよね、知っていて行くということは、悪いって知っていて悪いことやっているのと同じ、だからあやまろう。じゃないと、けじめもつかないし、周りのみんなも納得できないでしょ。」と、私。

と、そこへ高校生スタッフのMちゃんが、さっとＡちゃんに駆け寄り、しゃがんでＡちゃんの目線に合わせながらお話をはじめました。語りかけるようにお話をしています。数分後、Ａちゃんはメソメソし始めました。そして本格的に泣き出しました。Mちゃんのことばが Ａちゃんに響いたのです。しかし依然としてＡちゃんは謝りません。

実は子どもにとって、謝るという行為はとても大変なことなのです。『ごめんなさい』の一言は、『ご』の一言目を言った瞬間に泣いてしまいそうなくらいに大変なことなのです。すでに泣いてしまっているＡちゃんですが、やはり謝りの言葉が出ません。それでもMちゃんは根気よく説得を続けます。

１０分近くが経ちました。もうこれ以上は周りにいる子どもたちにも迷惑がかかります。

「じゃーこうすることにしよう。Ａちゃんが謝れないのなら、Ａちゃんと同じ班の子たちが代わりにみんなに頭を下げてまわろうよ。とにかく悪いことは悪いのだから、そのままというのは良くないからね。」

そしてドラマはおこりました。先ほどまでＡちゃんを説得していたMちゃんが先頭に立って、「ごめんなさい」と周りはじめました。しかも満面涙で泣きじゃくりながら・・・。

Mちゃん、ありがとうね。悔しかったんだね。自分の説得でなんとかＡちゃんを謝らせようとした。でもだめだった。あなたがそこまで責任感あふれる子であったことを、わたしは気付かずにいました。中学を卒業しても我が家のごとくたびたび姿を見せてくれること、ありがとう。

あなたの夢は保育士さんでしたね。普段は強気の表情など微塵も見せないほのぼのだらけのあなたですが、ここぞ一番というところでは、しっかりと考えを持っていましたね。災害時の避難場所が私の家になっていると言っていましたが、ご家族みなさんで来られても私の身の置き場所がありません。でもうれしいです。ありがとう。

Ａちゃんも１年生ながらしっかりとした考えを持った子です。スタッフのＦさんから聞いたことですが、何かしてもらったのでしょう。あとからそっと駆け寄ってきて「さっきはありがとう」って、耳元でささやいてくれたそうです。ちゃんとこころを持っています。今年も多くのスタッフさんたちに助けられました。そして元気になられたキャンプ場のマスター、お酒美味しかったです。ありがとうございました。

４泊５日、あなたのこころはどのように育ちましたか？　みんな、みんな、ありがとうね。